

とやま 市議会だより

発行日 平成30年(2018年)5月5日

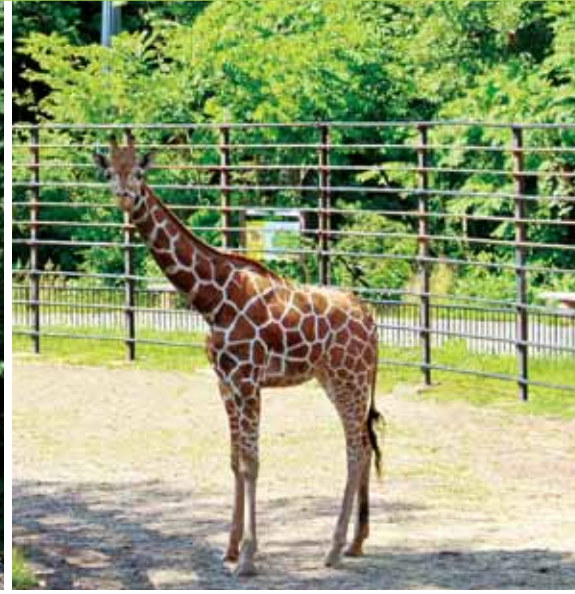
発行 富山市議会

編集 議会報編集委員会

TEL 443-2158 FAX 443-2196

ホームページ <http://www.city.toyama.toyama.jp>

メールアドレス gjityousa-01@city.toyama.lg.jp



主な内容

議会選出役員改選	2
3月定例会の概要 可決した主な議案等	3
29年度補正予算 会派別賛否一覧等	4
委員会・諸会議等	5
常任委員会	6
代表質問	8
一般質問	10
特集 議会改革の取り組み	15
アンケートの結果 行政視察報告等	16

ファミリーパーク

詳しい情報は、ホームページをご覧ください。



富山市議会

検索

富山市議会
ホームページ



議会役員および議会選出役員一覧

議長 村上 和久

副議長 鋪田 博紀

◎は委員長 ○は副委員長

(議会改革検討調査会及び政務活動費のあり方検討会は座長、副座長)

常任委員会

総務文教委員会

- ◎ 高田 重信
- 高道 秋彦
- 金谷 幸則
- 上野 蛍
- 江西 照康
- 東 篤
- 堀江かず代
- 赤星ゆかり
- 村上 和久
- 高見 隆夫

厚生委員会

- ◎ 佐藤 則寿
- 舎川 智也
- 久保 大憲
- 松井 邦人
- 竹田 勝
- 木下 章広
- 島 隆之
- 村石 篤
- 鋪田 博紀
- 有澤 守

工商農林水産委員会

- ◎ 成田 光雄
- 高田 真里
- 泉 英之
- 金井 毅俊
- 大島 満
- 橋本 雅雄
- 松井 桂将
- 金厚 有豊
- 柞山 数男

建設委員会

- ◎ 横野 昭
- 尾上 一彦
- 岡部 享
- 石森 正二
- 押田 大祐
- 小西 直樹
- 松尾 茂
- 村家 博
- 五本 幸正

議会運営委員会

- ◎ 金厚 有豊
- 堀江かず代
- 舎川 智也
- 江西 照康
- 東 篤
- 成田 光雄
- 横野 昭
- 高田 重信
- 村家 博
- 柞山 数男

まちづくりと公共交通 対策特別委員会

- ◎ 村家 博
- 松井 桂将
- 岡部 享
- 石森 正二
- 上野 蛍
- 押田 大祐
- 高道 秋彦
- 橋本 雅雄
- 金厚 有豊
- 赤星ゆかり
- 有澤 守

議会報編集委員会

- ◎ 成田 光雄
- 高道 秋彦
- 松井 邦人
- 金谷 幸則
- 岡部 享
- 舎川 智也
- 高田 真里
- 金井 毅俊
- 小西 直樹
- 松尾 茂

議会改革検討調査会

- ◎ 柞山 数男
- 江西 照康
- 久保 大憲
- 竹田 勝
- 上野 蛍
- 木下 章広
- 押田 大祐
- 高田 真里
- 大島 満
- 尾上 一彦
- 村石 篤
- 佐藤 則寿
- 高田 重信
- 赤星ゆかり

政務活動費のあり方 検討会

- ◎ 横野 昭
- 松尾 茂
- 泉 英之
- 木下 章広
- 舎川 智也
- 江西 照康
- 島 隆之
- 東 篤
- 小西 直樹
- 大島 満
- 成田 光雄
- 橋本 雅雄
- 高田 重信
- 有澤 守

富山市監査委員

舎川 智也 横野 昭

富山県後期高齢者医療 広域連合議会議員

有澤 守 高見 隆夫
五本 幸正

富山市社会福祉 審議会委員

有澤 守

富山地区広域圏 事務組合議会議員

竹田 勝 高道 秋彦
東 篤 小西 直樹
尾上 一彦 佐藤 則寿
金厚 有豊 村上 和久
高見 隆夫 五本 幸正

富山市土地開発公社理事

岡部 享 石森 正二
高田 真里 松井 桂将
横野 昭 高田 重信

富山市都市計画 審議会委員

江西 照康 成田 光雄
鋪田 博紀 堀江かず代
赤星ゆかり 村家 博

平成30年3月定例会の概要

総額3,353億余円の平成30年度予算決まる 「ケーブルテレビでの本会議の生放送および録画放送始まる」

平成30年3月富山市議会定例会は、3月2日から23日まで22日間の会期で開かれました。平成30年度富山市一般会計予算などの予算案件、29年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて104議案が原案のとおり決まりました。今定例会から、ケーブルテレビでの本会議の生放送および録画放送が始まりました。

定例会の日程

3月2日	本会議（提案理由説明ほか）
3月6日	本会議（代表質問） 3会派
3月8日	本会議（一般質問） 7人
3月9日	本会議（一般質問） 8人
3月13日	本会議（一般質問） 8人
3月14日	本会議（一般質問） 3人
3月15日	常任委員会（補正分） 本会議（補正分の討論・採決）
3月16日	商工農林水産委員会・建設委員会
3月19日	総務文教委員会・厚生委員会
3月20日	商工農林水産委員会・建設委員会
3月22日	総務文教委員会・厚生委員会
3月23日	本会議 （委員長報告・質疑・討論・採決ほか）



ケーブルテレビでの本会議の放送

ケーブルテレビ富山・・・生放送
上婦負ケーブルテレビ・・・生放送・録画放送*
*県議会との重複日は、録画放送になります。

インターネットでも本会議の生中継および録画中継をご覧ください。
*録画中継は、各本会議終了後、おおむね4日後（土・日および祝日を除く。）から
ご覧いただけます。

可決した主な議案

○30年度の予算

■予算規模		(単位：億円)		
区分	30年度	29年度	増減率(%)	
一般会計	1,568	1,544	1.5	
特別会計(16会計)	1,328	1,436	▲7.5	
企業会計(4会計)	457	455	0.4	
合計	3,353	3,435	▲2.4	

■一般会計の歳入・歳出内訳 (単位：億円)



■主な事業【重点施策別】

出産・子育て環境の充実と女性の活躍推進

- ・ベビーボックスプレゼント事業
- ・中央児童館の開設（C i Cビル5階）
- ・放課後児童健全育成事業特別拡充事業

第2次環境未来都市計画及び第3期中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業の着実な推進

- ・国際展開事業（小水力発電事業等）
- ・総曲輪三丁目地区および中央通りD北地区市街地再開発事業
- ・交通空間賑わい実証事業

企業立地の促進及び産業の振興による地域経済の活性化

- ・第2期呉羽南部企業団地造成事業
- ・事業承継支援補助金
- ・企業立地奨励事業

在宅医療・介護の連携など地域包括ケア体制の推進と元気な高齢者の活躍推進

- ・富山市まちなか総合ケアセンター
- ・ICT活用認知症高齢者検索支援事業
- ・スーパーシニア活躍促進人材バンク

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの推進

- ・路面電車南北接続第2期事業
- ・東富山駅東口改札設置事業
- ・あいの風とやま鉄道線新駅設置事業

新時代に対応した人材育成のための教育の充実

- ・外国語指導助手（ALT）配置事業
- ・ネイティブスピーカーふれあい事業
- ・プログラミング教育推進事業

■条例案件

- 富山市まちなか総合ケアセンター条例の一部改正

○ 29年度の補正予算等

3月補正後の平成29年度予算

3,504億7,618万余円 (補正額 ▲1億4,602万余円)

■ 予算案件

○ 29年度富山市一般会計補正予算補正額

- ・大規模改修工事等 (奥田小学校、奥田北小学校、倉垣小学校)
- ・校舎改築工事等 (浜黒崎小学校、速星小学校、岩瀬中学校)
- ・体育館天井改修工事等 (芝園小学校、山室中部小学校)
- ・台風被害に伴う水橋フィッシャリーナ水面係留施設復旧工事等
- ・台風被害に伴う水橋漁港防波堤等復旧工事
- ・連続立体交差事業負担金

39億9,391万7千円

13億2,078万4千円

23億2,602万6千円

1億2,66万7千円

2億8,188万7千円

9,940万円

2億740万9千円

○ 29年度富山市特別会計補正予算 (10会計) 補正額

▲41億3,994万1千円

■ 契約案件

○ 工事請負契約締結の件

- ・八田橋 (下流側) 架替工事

■ 承認案件

○ 専決処分について承認を求める件

- ・雪対策事業費 (除雪費)



除雪の様子

請願

審議された請願の結果は、次のとおりです。

請願とは、市政などについて意見・要望がある場合などに、議員の紹介を得て、文書にまとめて市議会に提出することです。

年金・高齢期の暮らしと地域経済を守る意見書の採択を求める請願	不採択
「生活扶助基準の引下げ」方針の撤回を求める国への意見書採択の請願	不採択
一般市民の参加による議会改革を求める請願	不採択

意見書

次の意見書を可決し、国会および関係行政庁などへ提出しました。

意見書とは、市の公益に関することについて議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

中小河川緊急治水対策プロジェクトの予算の確保を求める意見書
所有者不明の土地利用を求める意見書

議案・意見書・請願の会派別賛否一覧

賛否が分かれた議案等については、次のとおりです。

表中の見方: 「○」=賛成 「×」=反対

件名	議決結果	自由民主党 (22人)	公明党 (4人)	社会民主党 議員会 (3人)	日本共産党 (2人)	会派 誠政 (2人)	光 (2人)	日本 維新の会 (2人)	フォーラム 38 (1人)
議案第1号 平成30年度富山市一般会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第24号 富山市職員の退職手当支給条例等の一部を改正する条例制定の件	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第60号 平成29年度富山市一般会計補正予算 (第9号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第74号 富山市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決	○	○	○	×	○	×	×	×
議案第75号 市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	○
議案第95号 富山市監査委員の選任に関し同意を求める件	同意	○	○	×	×	○	×	×	×
議員提出議案 第2号 所有者不明の土地利用を求める意見書	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○
議員提出議案 第4号 生活保護世帯の子どもたちの大学等への進学に関する意見書	否決	×	×	○	○	×	○	○	○
議員提出議案 第5号 拙速な「TPP11」の承認に反対する意見書	否決	×	×	○	○	×	○	×	×
議員提出議案 第6号 長時間労働を規制する法律の早期制定を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○	○	×
議員提出議案 第7号 教育予算の増額と負担軽減措置の拡充を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○	×	×
平成30年分 請願第1号 年金・高齢期の暮らしと地域経済を守る意見書の採択を求める請願	不採択	×	×	○	○	×	○	○	×
平成30年分 請願第2号 「生活扶助基準の引下げ」方針の撤回を求める国への意見書採択の請願	不採択	×	×	○	○	×	○	×	×
平成30年分 請願第3号 一般市民の参加による議会改革を求める請願	不採択	×	×	○	○	×	○	○	○

全ての議案に対する議員個人ごとの賛否の一覧表を富山市議会のホームページに掲載しています。

また、本会議で、賛成討論・反対討論があったものについて、一覧表の中に討論の要旨も掲載しています。▶



委員会・諸会議

定例会中の本会議や常任委員会のほかにも、委員会等を開催し、市政についての課題や、議会改革などについて協議しています。

月日	委員会等	協議事項等
1月23日	議会運営委員会	・議会運営に関する申合せ事項 ・定例会日程の見直し
	議会改革検討調査会	・反問権（逆質問・反論）の付与 ・分割質問の導入 ・議会改革検討調査会等における議論の尊重
2月2日	議会運営委員会	・3月定例会の運営 ・議会改革検討調査会の協議結果
	政務活動費のあり方検討会	・運用指針の改善 ・次年度の第三者機関
13日	各派代表者会議	・政務活動費のあり方検討会の協議結果
20日	議会改革検討調査会	・委員会資料、議会資料のインターネット公開 ・分割質問の導入 ・全ての会議を公開すること ・各会派の質問に対する残り時間を議会だよりやホームページに表示すること ・一般質問における年間の持ち時間
22日	まちづくりと公共交通対策特別委員会	・富山市都市機能立地促進事業の創設 ・富山駅南西街区市有地活用事業者の公募 ・高齢社会における交通と健康モニタリング調査事業 ・富山市住生活基本計画の中間見直し
23日	議案説明会	・3月定例会提出予定案件の概要
	厚生委員会	・富山市高齢者総合福祉プラン（案） ・「第5期富山市障害福祉計画・第1期富山市障害児福祉計画」（案） ・国民健康保険の都道府県単位化
3月2日	各派代表者会議	・議会改革検討調査会の協議結果 ・政務活動費に係る第三者機関との契約 ・委員会条例の一部改正
5日	議会運営委員会	・3月定例会の運営 ・議会改革検討調査会の協議結果
	議会報編集委員会	・とやま市議会だより（No.56）のレイアウト（案） ・とやま市議会だよりの検討事項
14日	議会運営委員会	・会派から提出された意見書（案）・決議（案）
	各派代表者会議	・役員改選
19日	議会運営委員会	・追加議案 ・請願の審査 ・意見書・決議
23日	議会運営委員会	・本会議の進め方
	厚生委員会	・追加議案
	総務文教委員会	・正・副委員長の互選
	厚生委員会	・正・副委員長の互選
	商工農林水産委員会	・正・副委員長の互選
	建設委員会	・正・副委員長の互選
	議会運営委員会	・正・副委員長の互選
	まちづくりと公共交通対策特別委員会	・正・副委員長の互選
	議会改革検討調査会	・正・副座長の互選
	議会報編集委員会	・正・副委員長の互選
	政務活動費のあり方検討会	・正・副座長の互選
4月4日	議会報編集委員会	・とやま市議会だより（No.56）の発行

本会議の会議録は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

30年3月定例会の会議録は、30年5月下旬に掲載する予定です。なお、会議録の冊子は、市立図書館（本館およびC i Cビル4階とやま駅南図書館）や市役所東館3階の市政情報コーナーで、閲覧することができます。

委員会・諸会議の議事録も、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

傍聴

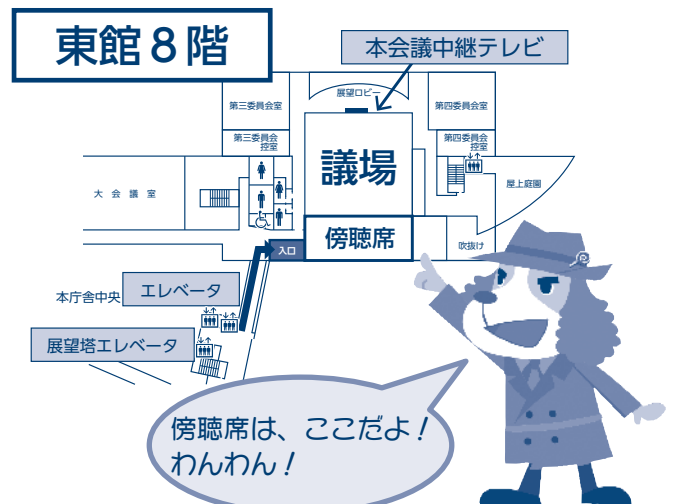
本会議や委員会は、一般に公開されています。

本会議 自由に傍聴することができます。（定員86人）

傍聴される方は、市役所東館8階の傍聴席入口で本会議傍聴申込書をご記入の上、お入りください。手話通訳を希望される方は、傍聴希望日の5日前（閉庁日を除きます。）までにお申し込みください。

委員会 各委員会の許可の上、傍聴することができます。（定員10人）

傍聴を希望される方は、委員会開会日の午前8時30分から委員会開会時刻の15分前までの間に、議会事務局でお申し込みください。



総務文教委員会

29年度富山市一般会計補正予算、30年度富山市一般会計予算、富山市事務分掌条例の一部を改正する条例制定の件など15件については、いずれも原案のとおり「可決」「同意」した。

首都圏レピュテーション※ 向上事業

委員 本事業の最終的な目的は、各種メディアに掲載、発表をするということなのか。

市 これまでもさまざまなプレゼンテーションの機会をいただく中で、まちづくりの成果を説明してきたが、本事業を通して首都圏の有識者の意見も吸収しながら、客観的な観点から、使っている指標の精度をさらに上げていきたいと考えており、これを最終的にまちづくりに還元していくことが主な狙いである。

委員 メディアへの掲載、発表等、先を見据えながらしっかりと取り組んでもらいたい。

※レピュテーション……評判、評価



プレゼンテーションをする市長の様子

富山市職員の退職手当支給条例等の一部を改正する条例制定の件、30年度富山市一般会計予算（企画管理部所管分）

反対討論 職員数が削減される中、激務をこなしながら全体の奉仕者として頑張っている市職員の退職金を大幅に削減する条例と予算には反対である。また、正規職員を減らし、非正規職員や民間委託に置き換えていくことは、低賃金などで雇用される人が増えることにつながるため、民間委託や民営化を拡大する方針と予算には反対である。さらに、地域住民にとってつながりの強い公共施設の廃止や、外郭団体の解散を含めた見直しなどの将来の方向性が明らかにされ、このような方向性を踏まえて外郭団体の在り方の見直しに関する指針を策定して、改革を実施していくという新年度予算には賛成できない。

結果 原案のとおり可決した。

小学校等の給食調理等業務委託

反対討論 子どもたちの命を育む学校給食で、調理業務の民間委託が拡大されると、結果として職員がさらに減っていくことにつながるため賛成できない。

賛成討論 民間委託の導入について、①先生方、子どもたちの味などに対する評価が大変高い②先生方や栄養職員が本来の業務に従事できる③予算を縮小できる④将来に向けた職員数の適正化に非常に対応しやすくなる—これらのことから賛成である。

結果 原案のとおり可決した。

厚生委員会

29年度富山市一般会計補正予算、30年度富山市一般会計予算、富山市国民健康保険条例に関する条例の一部を改正する条例制定の件など45件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

児童館施設整備事業

委員 星井町児童館について、新しい児童館が完成するまで、現在の児童館を使用したいとのことであるが、大きな地震が起きた場合に倒壊する恐れもあることから、子どもたちの安全・安心を第一に考え、代替施設の確保について検討するとともに、現在の児童館を使用しないという検討はできないのか。

市 代替施設を設けるということは、現在の児童館を休止、休館することを含めて検討する必要がある。安全性とともに、市民の利便性をなるべく損なうことがないようにするためには、どのような対応がとれるのかを、検討していきたい。

委員 星井町児童館の耐震診断について、昨年10月ごろに調査結果がわかっていたのであれば、今後の方針について、先の12月定例会で議会に報告をすべきであったと考える。

「富山市内斎場再整備事業基本構想」および「富山市斎場再整備基本計画（案）」

委員 将来にわたって支障なく火葬業務が実施できるように、再整備に向けた準備が進められているが、葬送習慣は多様化してきていることから、再整備に当たっては、斎場の機能を充実させてほしい。



富山市斎場（西番）

商工農林水産委員会

29年度富山市一般会計補正予算、30年度富山市一般会計予算、富山市土地改良事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例制定の件など20件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

富山市スーパーシニア活躍促進人材バンク

委員 バンク設置から半年が経過したが、今後の課題は。
市 長年の経験による優れた技術やノウハウを持つ65歳以上の方と即戦力を求める企業とのマッチングを行い、産業活性化を目的として始めた事業であるが、事業の趣旨に沿った人材が多くなく、マッチングが進まなかった。今後はアドバイザーとして、企業の事情に精通した方の配置を考えており、バンクの体制強化を図っていく。



スーパーシニア活躍促進人材バンク

牛岳温泉健康センター、牛岳温泉スキー場、白樺^{しらかば}ハイツ事業

委員 牛岳温泉健康センター等、類似施設の今後の維持・存続のためには、何が必要と考えているのか。

市 各施設の存続には、稼働率を上げていくことが何よりも重要と考えている。そのため今まで以上に、市は施設のPRに、また指定管理者はサービスの向上などに取り組み、両者連携して利用者増に組みたいと考えている。



牛岳温泉スキー場

いわいね 若稻ふれあいセンター

委員 経営改善計画について、指定管理者からどのような改善内容の提案がされているのか。

市 改善内容は、①定休日の廃止②仕入原価の低減③コマーシャル等により力を入れる④地元敬老会等への営業強化⑤経費の削減に努める一となっており、これらの経営努力によって、収益の向上を図るものと聞いている。

建設委員会

29年度富山市一般会計補正予算、30年度富山市一般会計予算、富山市コミュニティバス条例の一部を改正する条例制定の件など21件については、いずれも原案のとおり「可決」「同意」「承認」した。

消防車両等購入整備事業

委員 新規に整備する水難救助用水上バイクについて、富山北消防署海上分遣所に配置するとのことだが、事故の多い神通川エリアに配置する必要はないのか。

市 水難救助用水上バイクは、現在所有している救命艇よりも機動力に優れているため、より迅速に水難救助活動を行うことができるものである。

まずは、1艇を導入・運用した上で、その結果を踏まえて、今後の方向性について検討していきたい。



水難救助用水上バイク

まちなか居住推進事業

委員 共同住宅建設促進補助について、30年度認定分から補助金額が半分に減る理由は。

市 居住誘導区域内における共同住宅の着工数が区域外よりも上回ったことや、事業者に対するアンケート結果からも、着工数が急激に落ち込むことはないと予想されること、また、これまで活用していた国からの交付金を本事業に充てることができなくなったこともあり、減額したものである。



自由民主党

村家 博



30年度当初予算

問 30年度当初予算において財源を重点的に配分した施策は。

答 ①「出産・子育て環境の充実と女性の活躍推進」では、育児用品を詰め合わせたベビーボックスの配布や、第3子以降に誕生した赤ちゃんへの紙おむつの配布②「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの推進」では、富山港線を在来線高架下まで延伸する路面電車南北接続の第2期工事の本格化③「新時代に対応した人材育成のための教育の充実」では、プログラミング教育に向けた教員の指導力の向上一などの施策に予算を重点的に配分した。(市長)



パソコンでの授業の様子(イメージ)

公共施設マネジメント

問 公共施設マネジメントアクションプランの実行に向けての市長の決意は。

答 公共施設の再編については、さまざまな意見があることは十分承知しているが、持続可能な都市経営を実現するためには、避けて通れないものであり、ファシリティマネジメントに今から取り組んでいくことが、若い世代の安心感につながるものと確信している。今後、再編の必要性や地域の将来の姿等も含め、市民に丁寧に説明し、必要な手順を踏んで合意形成を進めながら、30年後、40年後の将来市民にも憂いのないよう、アクションプランの実行に鋭意取り組んでいきたい。(市長)

子ども・子育て支援施策

問 切れ目ない子育て支援施策の意義と位置付けについて、市長の見解は。

答 まちなか総合ケアセンターを開設するなど子育て支援の充実に努めており、きめ細やかに切れ目なく子育てを支援していくことが、都市としての総合力をより一層高めることにつながるものと考えている。一方、その先に見据えているものは、こうした総合力の高さにより、誰もが豊かさを実感でき、安心して暮らすことのできる都市力を企業経営者や企業に勤めている方々に発信することで、人や企業を呼び込み、雇用にもつなげていくことである。(市長)

児童数が増加する学校への対応

問 必要となる学級数に応じた教室の確保ができなくなるのが懸念されるが、対応策は。

答 主に校舎の増築により、必要となる学級数に応じた教室を確保してきたところであり、今後とも、将来的な児童数の推移を注視するとともに、それぞれの地域の実情を勘案しながら対応していきたい。なお、児童数の増加が顕著な堀川南小学校区については、現在、校舎の増築を計画しているところではあるが、児童数のピークが見通せないことや学校敷地が狭隘^{きょうがい}であり増築にも限度があることから、通学区域を弾力的に運用するなどの方策についても検討する必要があるのではないかと考えている。(教育長)

路面電車南北接続事業

問 南北接続後における、運転を担う主体の一元化により、期待される効果をどう考えているのか。

答 多様な系統での運行や分かりやすい全線均一運賃の導入など、質の高いサービスが将来にわたり持続的に提供されることで、路面電車の利用者が大幅に増加することが期待されるとともに、事業の継続性も高まるものと考えている。このことにより、中心市街地の活性化に加えて、市民の健康の増進やコミュニティの醸成など、市民やまち全体に対する多様な効果も期待できるものと考えている。



南北接続後の富山駅のイメージ図

(都市整備部長)

上下水道事業の今後の経営状況

問 重要施設の改築や更新について、計画の概要を取りまとめた上で料金改定も検討するとしているが、現時点でどのように考えているのか。

答 重要基幹施設の改築を十数年後以降に控えていることなどから、近い将来の料金改定は避けられない。また、料金改定は、受益者負担の激変緩和や建設資金の積立てのため、施設整備に先立って計画的、段階的に行うことが必要である。今後策定する整備計画を踏まえ34年4月頃が最適と考えているが、具体的な内容は、投資財政計画の再検討を行い、^{ていそうと}遞増度の緩和など料金体系の見直しも合わせて慎重に検討していく。なお、消費税の増分はそのまま料金に反映する。(上下水道局長)

【質問項目】

- ▼公共施設マネジメント ▼外郭団体に関する見直し ▼予算 ▼障害福祉施策 ▼高齢者福祉施策 ▼国民健康保険の都道府県単体化
- ▼子ども・子育て支援施策 ▼スポーツ振興 ▼交通安全施策 ▼環境施策 ▼商工労働施策 ▼農業施策 ▼まちづくり
- ▼社会資本整備 ▼防災行政無線 ▼教育行政 ▼上下水道事業 ▼市民病院

公明党

堀江 かず代



環境未来都市

問 SDGs（持続可能な開発目標）推進についての見解は。

答 SDGsの理念は、環境未来都市としての本市の将来像と方向性が同じである。第2次総合計画をはじめ、各種計画における取り組みはSDGsの目標達成に大きく貢献できると考え、本市では市民の利益を絶えず意識しながらSDGsの目標の一つである「持続可能なまちづくり」に取り組んでいる。各種計画の熟度を高め、着実に実行することで、総合力の高いまちづくりが実現するものと考えており、SDGsの推進に積極的に取り組んでいく必要がある。
(市長)



SDGsの17目標

中小企業支援

問 生産性向上特別措置法案が成立した際、国の導入促進指針に基づき、市は導入促進基本計画を策定するのか。

【質問項目】

▼予算編成 ▼環境未来都市 ▼中小企業支援 ▼共生社会の推進 ▼健康まちづくり ▼教育環境の充実

社会民主党議員会

村石 篤



教育委員会関係予算

問 学校図書館において、全ての小学校に1紙、全ての中学校に2紙の新聞配備を行う必要があると考えるが、見解は。

答 新聞を教育に活用することは、メディアの特性を知り、読解力や情報を的確に読み取るリテラシーを育むために、重要であると考えており、本市ではこれまでも積極的に新聞を取り入れた授業を行っている。
現在、全ての小中学校で、図書室や学年の共有スペースなどに新聞を配備しており、今後とも、新聞の有効活用を推進していくよう、周知を図っていく。(教育長)

【質問項目】

▼企業主導型保育事業所設置促進事業
▼教育委員会関係予算など ▼自治体の基金
▼市街地再開発事業 ▼法人市民税の仕組み
▼中心市街地活性化事業 ▼体育施設整備事業

答 生産性向上特別措置法については、現在、国会で審議中であるが、法案が成立した際には、特例措置の対象となる設備投資は、市町村が策定する先端設備等の「導入促進基本計画」と合致する企業の導入計画に基づくものとされている。そのため、国の動向を注視し、導入促進のための指針が示されれば速やかに「導入促進基本計画」を策定し、このたびの特例措置とともに中小企業に周知していきたい。(商工労働部長)

障害児支援

問 第1期富山市障害児福祉計画の策定に当たり、医療的ケア児に対して、どのような事業を推進するのか。

答 在宅で生活する医療的ケア児が増加傾向にあり、①接し方や保育の仕方の理解が深まっていない②受入体制が整っていない③関係機関の連携体制が十分ではない等一の課題があることから、計画の策定に当たり、「特別な支援が必要な障害児に対する支援体制の整備」を施策の一つに位置付けた。30年度から、①研修会の開催②サポートのための看護師の派遣③交流の場の提供④情報共有、課題解決のための連携体制整備一等に取り組み、県や市医師会等と連携し、身近な地域における支援体制づくりを推進していきたい。(福祉保健部長)

市街地再開発事業

問 桜町一丁目4番地区および総曲輪三丁目地区における再開発事業の費用対効果の見通しは。

答 国土交通省が示す市街地再開発事業の費用便益分析マニュアルに基づき、費用と収益性、利便性及び快適性の向上等を比較した費用便益比は、桜町一丁目4番地区が1.25、総曲輪三丁目地区が1.02と両地区とも費用以上の便益が得られる結果となっている。

また、事業の実施が周辺地域への民間投資のさらなる呼び水となることや、中心市街地活性化の先導的、シンボリック事業となることなど、費用便益では計れない効果も期待できるところである。

(都市整備部長)



総曲輪三丁目地区市街地再開発(イメージ) 桜町一丁目4番地区市街地再開発(イメージ)

一般質問

26人の議員が一般質問を行いました。その中から一部の質問・答弁の要旨をお知らせします。議員名の横のコードの読み込みで、インターネットで一般質問の様子を閲覧できます。
※閲覧には、通信料が発生します。

地域児童健全育成事業

柞山 数男 (自由民主党)



問 未設置の音川地区では開設の希望があり、開設には資格を持つ支援員の確保が一番問題だと思うが、市長の見解は。



答 音川地区は対象者の人数からみて、地域ミニ放課後児童クラブの実施が良いのではないと思う。地域ミニ放課後児童クラブは、制度的に資格者を求めているが、今までは、質を上げようと資格者を求めている。制度として求められていないものを、求めるのは行き過ぎで、今は質より量をまず確保しなくてはならないと考えており、今後そのように実施していく。(市長)

【質問項目】

▼コミュニティバスの運行 ▼放課後児童健全育成事業
▼浸水対策 ▼雪対策

市町村合併

五本 幸正 (自由民主党)



問 本市における市町村合併の意義をどのように捉えているか。



答 合併により、音川から山田、大沢野から大山につながる道路整備など、広域的な国や県の取り組みに対して加速化を図ることができた。加えて、中心市街地の活性化等によって税収が増えてきており、これを財源に、さまざまな施策を通して市域全体への税の還流を行えることは、まさに合併の効果である。今後もコンパクトシティ政策を基本に都市の総合力を高め、20年後、30年後を見据えた持続可能なまちづくりにまい進していきたい。(市長)

【質問項目】

▼市町村合併 ▼シティプロモーション
▼まちの環境美化推進 ▼八田橋架替事業

ICT (情報通信技術) の利活用

松尾 茂 (公明党)



問 ICTの利活用が今後の市民生活向上につながっていくと考えるが、ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質向上事業について、市長の見解は。



答 この事業は、官民が個別に保有している道路工事情報などを載せるプラットフォームを構築するものであり、例えば、救急車の効率的な運行や通学路の安全確保にも役立つと考えている。

まず、30年度から関係団体での運用を開始する予定であり、順調にいけば、その他の情報も載せていきたい。(市長)

【質問項目】

▼ICT (情報通信技術) の利活用 ▼マイナンバー制度
▼在宅医療・介護連携推進事業

日本古来の伝統的家族制度の再構築

高見 隆夫 (自由民主党)



問 地域や学校の中で、人間社会の原点を見つめ直す施策が必要だと思うが、市長の見解は。



答 人口減少や核家族化の進行とともに、子育てや介護の問題を抱える中で、家族の絆や命に対する畏敬の念の醸成等の長所がある多世代同居を促す施策等、安心して暮らせるまちづくりを進めている。多様な暮らし方を尊重しながら、家庭教育や地域活動、学校教育により良質な人間関係が生まれ、全ての高齢者が家族・地域が支え合う中で、尊厳のある最期を迎えられる社会を目指していきたい。(市長)

【質問項目】

▼日本古来の伝統的家族制度へ ▼水橋地区の農地整備



中心市街地に整備されたTOYAMAキラリ

若者の政治参加

成田 光雄 (自由民主党)



問 若者の行政への参画を促すため、「富山市附属機関の設置及び運営に関する要綱」に1人以上35歳未満の若者の選任に努めるよう規定を追加してはどうか。



答 要綱は、市民の市政への参画の機会を拡充し、公正で透明な行政を推進するとともに、簡素で効率的な行政の推進を図ることを目的として定められている。附属機関の各種審議会では、審議会の目的とその専門性に応じて各種委員を選出しており、必要に応じて、女性、若者などが選任されているので、現在のところ具体的に規定を追加することは考えていない。(市民生活部長)

【質問項目】

▼若者の政治参加 ▼ガラス美術館
▼城址公園の整備 ▼国際交流の推進

県内バス路線情報の一元化

東 篤 (社会民主党議員会)



問 公共交通の利便性向上のため、経路検索の充実やバスロケーションシステムの整備は必要であり、市も積極的に取り組むべきと考えるがどうか。



答 県では、バス停の位置・時刻表のデータを民間の検索サイトへ提供することで経路検索の充実を図るとされており、本市としても積極的に取り組んでいきたいと考えている。また、バスロケーションシステムの整備については、県のワーキンググループの協議結果や費用対効果等を踏まえ、導入について検討していきたいと考えている。(都市整備部長)

【質問項目】

- ▼富山市の介護施策の現状と課題
- ▼県内バス路線情報の一元化

県産材の活用

高道 秋彦 (自由民主党)



問 木質ペレットの普及拡大に向けた取り組みと、今後の展開は。



答 東富山温水プール等へのペレットボイラーの導入や、ペレットストーブ購入者への補助金の交付など、普及拡大に努めてきた。森林組合への間伐材の運搬経費の支援を継続し、事業者の調達単価を抑えるとともに、安定した供給先の確保など、さらなる取り組みが必要と考えている。30年度に公共施設等への利用導入計画の策定を目的として、国の補助事業を活用し、市内の木質バイオマス資源量の把握や利用可能性調査等を行うこととしている。(環境部長)

【質問項目】

- ▼カラス対策 ▼防災対策
- ▼県産材の活用 ▼富山市内斎場の再整備

自殺対策

高田 真里 (自由民主党)



問 ゲートキーパーの養成を、もっと多くの職業の方々に広めてはどうか。



答 本市では、身近に悩んでいる人の変化に気付いて、必要に応じて専門機関につなぐゲートキーパーを22年度から養成している。理容師、美容師や事業所の経営者などから対象を段階的に拡大し、これまでに約2,800人が登録している。今後は、さらに対象を拡大し、さまざまな分野の職業の方に対し、養成研修を行っていく予定である。また、出前講座やホームページ、SNSを活用し、広く市民に周知していきたいと考えている。(福祉保健部長)

【質問項目】

- ▼自殺対策 ▼検診事業

精神障害者への医療費助成制度の拡充

小西 直樹 (日本共産党)



問 64歳以下の重度の精神障害者、知的障害者と同様に、重度心身障害者医療費助成制度の対象に加えるべきだと考えるが、見解は。



答 市単独で入院期間が継続して2年を超える精神障害者の家族等に、月額3,800円を上限に医療費助成を行っている。重度の精神障害者への拡大は、負担能力のある方への応分の負担の導入を含め、総合的な検討が必要である。厚生労働省に対して働きかけていくことが大事で、県の動向も見据えていく必要があると思う。(市長、福祉保健部長)

【質問項目】

- ▼教職員の多忙化の改善 ▼学校設備(耐震化、エアコン設置)
- ▼入学準備金の入学前支給 ▼精神障害者への医療費助成制度の拡充
- ▼障害者支援の施策 ▼老朽水道管の整備



木質ペレットとペレットストーブ

立山の火山活動に対する取り組み

押田 大祐 (自由民主党)



問 弥陀ヶ原火山防災協議会における現在までの取り組みは。



答 これまで、過去の火山噴火履歴などの調査に基づき噴火の規模などを想定した上で、影響範囲を予測しており、本年1月の協議会では、直径50cmの噴石が最大で半径約2kmの範囲に飛散するとの結果が公表された。今後は、30年度に火山灰や火山泥流などの影響範囲のシミュレーションを行い、その範囲を示す火山ハザードマップが作成される予定となっており、その後、噴火警戒レベルの設定や避難計画の策定を行うこととなっている。(建設部長)

【質問項目】

- ▼立山の火山活動に対する取り組み
- ▼男女共同参画「カジダン」事業の成果と今後の展開

富山市の財政状況

江西 照康 (自由民主党)



問 今後の市債残高や収支を見通した上で、本市の財政状況は。

答 健全化判断比率などの指標だけではなく、財政調整基金などの手持ち資金が重要であると考えている。



先般の豪雪により約8億7,800万円の財政調整基金を取り崩したが、一般会計の剰余金を財源として、3月補正予算において7億円を積み戻す予算を計上しており、ここ数年の残高は60億円台を維持している。このように取り崩してもすぐに剰余金で積み戻すことができるということも、財政の健全性を示す表れである。(財務部長)

【質問項目】

- ▼富山市の財政状況等
- ▼相続放棄等を理由とする空き家の対策
- ▼住宅セーフティネット
- ▼企業団地条例等の見直し
- ▼多面的機能支払交付金制度



イノシシの被害対策をした水田とイノシシ

幼児教育・保育の無償化

橋本 雅雄 (会派 誠政)



問 自治体に財政負担を強いられることになりかねないが、市長の見解は。

答 現在の制度では、教育や保育の実施に必要な費用の一部を利用者が負担し、残りは一定の割合で、国・県・市が公費から負担する仕組みになっている。



保育料が無償化され、公費負担の割合が変わらないと、県も市も負担が増えることになり、非常に大きな問題である。このことについては、指定都市・中核市・全国施行時特例市の3市長会で緊急要請を行っているが、今後も自治体に負担を強いることがないよう国に働きかけていきたい。(市長)

【質問項目】

- ▼保育行政および子どもの福祉

学校選択制の見直し

竹田 勝 (自由民主党)



問 中学校の学校選択制を見直し、再検討が必要と考えるが、市長の見解は。

答 この制度を発案した背景には、企業や働く人を呼び込みたいとの思いがある。



富山市に転入された世帯にとっては、多様な選択肢があることは大事であり、評価もいただいている。全体として見ると上手く機能しており、局地的な問題は別の観点で考えなくてはならない。各学校が知恵を出し切磋琢磨して、市全体の教育水準が上がっていくことで市の総合力が高まり、選ばれるまちになると考えており、そのためには大変重要な制度だと思っている。(市長)

【質問項目】

- ▼介護予防・日常生活支援総合事業
- ▼学校選択制の見直しならびに小中一貫校

イノシシ被害対策

石森 正二 (自由民主党)



問 中山間地域の集落が連携し対策を行うことが重要であり、情報共有できる場を設けることが必要と考えるが見解は。

答 23年度から被害集落を対象にイノシシの生態や電気柵の効果的な設置方法等に関する電気柵設置研修会を開催してきたが、近年、生息域が大幅に拡大しており、中山間地域集落全体が連携し対策に関する情報を共有することが必要となってきた。



30年度に作成予定のイノシシ対策マニュアルを活用し、中山間地域集落を対象に、被害状況、被害対策等に関する研修会を開催していきたい。(農林水産部長)

【質問項目】

- ▼有害鳥獣対策

受動喫煙

金井 毅俊 (日本維新の会)



問 昨年3月定例会の質問から1年が経過して、受動喫煙防止対策の強化をしている中核市の数は増えたのか。

答 中核市に対して本年3月に行った調査では、建物内禁煙が28年末から4市増えて26市、敷地内禁煙が1市増えて2市、本市と同様の建物内分煙が5市減り20市となっている。



健康増進法の改正案についても、閣議決定されたところであるが、法改正の趣旨を踏まえた新たな受動喫煙対策が必要であると認識しており、来庁される市民の喫煙にも配慮しつつ、適切に対応していきたい。(財務部長)

【質問項目】

- ▼監査委員
- ▼受動喫煙

コンパクトシティと中山間地

泉 英之 (自由民主党)



問 大山文化会館廃止に伴い複数の機能を複合化させた「(仮称)大山会館」の建設要望があるが、どう進めていくのか。



答 大山地域では、行政サービスセンターなど既存施設を核にブラッシュアップを図るリーディングプロジェクトとして、30年度から取り組むことを検討している。

その際には、要望書の内容や地域の実情などを十分勘案し、再編の必要性や地域の将来の姿などを地域住民に丁寧に説明し、必要な手順を踏んで合意形成に努めながら、再編整備を図っていききたい。(企画管理部長)

【質問項目】

▼コンパクトシティと中山間地



呉羽山公園の展望台から見た立山連峰

いじめ対策と教員の多忙化解消

島 隆之 (光)



問 いじめ解決のために、児童・生徒や教員等の負担軽減に配慮しているか。



答 近年、スマートフォンの普及等で、SNSを利用した発見が困難ないじめが増加傾向にある。そのため、学校では正しいネット利用の講習会実施等に、また、教育委員会では県教委のネットパトロールの情報を活用した指導やスクールカウンセラーの派遣等に取り組んでいる。いじめの対応における教員等の負担軽減は、現実的には難しいと考えているが、学校が関係機関と連携して組織的に対応することで、精神的な負担を最小限にできるよう支援に努めていきたい。(教育委員会事務局長)

【質問項目】

▼いじめ対策と教員の多忙化解消

▼国の「放課後子ども総合プラン」と本市の地域児童健全育成事業(子ども会)

ごみ出し支援対策

松井 邦人 (自由民主党)



問 超高齢社会を迎えるに当たり、ごみ出し支援対策について検討が必要になると考えるが、見解は。



答 高齢単独世帯のうち要介護認定も受けている世帯数は、30年1月末現在9,574世帯である。ごみ出し支援対策については、対象世帯の自宅前まで、ごみ収集に向うことを検討したが、対象世帯の実態把握が難しい等の課題があり実施に至らなかった。今後、ごみ出し困難世帯の増加が予測されることから、他都市の事例も参考にしながら、本市に適した支援対策を検討していきたい。(福祉保健部長、環境部長)

【質問項目】

▼少子・超高齢社会における支援体制

▼妊婦歯科健診・歯周疾患検診

観光戦略

金谷 幸則 (自由民主党)



問 今後の呉羽山の整備などについて、市長の見解は。



答 呉羽丘陵は、市民の憩いの公園であるとともに、観光資源でもあり、歴史的な資源も豊富などところである。また、ごみ拾いに協力してくれる人たちもあり、フットパスを歩いても大変きれいである。歩いている人や走っている人も大変多く、健康づくりにも大きな役割を果たしている。何よりも市中心部の近くにこれだけの丘陵地帯があるという市はあまりない。今の状況をこれからも維持していきたいと考えている。(市長)

【質問項目】

▼少子化対策の支援 ▼観光戦略

地域児童健全育成事業の在り方

久保 大憲 (自由民主党)



問 利用料の徴収を検討すべきと考えるが、市長の見解は。



答 放課後児童健全育成事業は有料で実施しているため、有料化で統一することが目指すべき到達点と思うが、地域児童健全育成事業は昭和43年から各地域の自治振興会が中心となり、利用料無料で実施してきたため、すぐに変えることは大変難しい。本事業を実施している地域に、放課後児童健全育成事業の事業者が開業し、利用者が様子を見てシフトするなど、ゆっくりと一元化していくことができればと思う。(市長)

【質問項目】

▼小・中学校の耐震化 ▼地域児童健全育成事業の在り方

監査委員

大島 満 (フォーラム38)



問 地方自治法の改正によって、本年4月から議会選出監査委員の選任の選択が各自治体でできるようになった。廃止すべきと考えるが、見解は。



答 専門性の高い職種に限定することなどにより、監査委員制度のより一層の強化・充実を図っていくことが大切だと考えている。本年2月に自由民主党会派から、「議会において少し時間をかけて、議員提案により条例改正案を提出したい」との申し出をいただいた。議会において検討される方が妥当であり、意義深いと思うことから、今後の動向を注視することとしている。(市長)

【質問項目】

▼八尾地域統合中学校 ▼監査委員

財政調整基金の在り方

舎川 智也 (自由民主党)



問 経済状況によって取り崩すことができる基金と災害に充当する基金が同じ財源で賄われる現状は、リスクマネジメントの観点から不安である。市長の見解は。



答 本市は工場出荷額が北信越5県で一番大きく、産業基盤がしっかりしているので財政は成り立っているが、急激に円高になると税収が減る。そのような時でも災害が起きたら手持ち資金が必要になる。基金を別に設けるとどちらかが持っている以上に必要になった時に対応できなくなるため、どちらにも使える枠で大きな金額を持っている方が、リスク管理上良いと思う。(市長)

【質問項目】

▼財政調整基金等の在り方 ▼山田地域の地域おこし協力隊

降雪時の通学路確保

岡部 享 (社会民主党議員会)



問 教育委員会として除雪の状況を把握し、問題があれば通学路安全対策連絡会議等を通じて対策を行う必要があると考えるが、見解は。



答 今回の大雪の際には、各学校が子どもたちの実態や地域の実情等に応じて、登下校の時間を変更したり、保護者や見守り隊に登下校の見守りの強化をお願いするなどの対応を行った。今後、通学路安全対策連絡会議において、今回の対応状況や課題等を共有し、改善に生かしていくなど、引き続き通学路の安全確保に努めていきたい。(教育委員会事務局長)

【質問項目】

▼富山市職員採用と欠員補充 ▼降雪時の通学路確保
▼耕作放棄地の対応

学童保育の充実

赤星 ゆかり (日本共産党)



問 昨年12月定例会で、堀川南など利用児童数が条例基準の40人を大幅に超えている校区の実情を訴え、施設整備や指導員増員等を求めた。地域児童健全育成事業(子ども会)の予算が増額されているが、内訳は。



答 30年度予算の増額は、①各校区の指導員の報酬について、平日の利用児童数が70人を超える校区の指導員の体制を4人から5人分として積算するための費用等②現在、旧柳町公民館にある地域児童健全育成室を、建物の老朽化のため、柳町小学校内に移転するための工事費一である。(こども家庭部長)

【質問項目】

▼学童保育の充実 ▼堀川南小学校の増築事業および通学路の整備
▼市立公民館の建て替えの促進
▼市街地再開発事業等まちづくりの問題と市財政

まちの活性化

木下 章広 (日本維新の会)



問 大沢野、大山、八尾、婦中、山田、細入の各地域の活性化について、商業的、観光的な観点からの市の考えは。



答 今後も引き続き必要な支援や投資は行っていくが、商業の観点では、商業者による魅力的な店づくりはもとより、住民も地元の商店を盛り立てる意識を持ち、お互いを支え合うような関係を構築することが重要だと考えている。観光の観点では、各地域の事業者等が、これまで市が投資してきた施設等を有効に活用し、地域を訪れる方々の消費を促す取り組みを行うことが重要だと考えている。(商工労働部長)

【質問項目】

▼雪への対応 ▼まちの活性化

病児保育

上野 蛍 (光)



問 本市と病児保育事業者はどのように連携しているのか。また、支援策は。



答 医師会や保育士連盟の代表者、病児保育事業者と市で、ネットワーク会議を開催している。29年度は、利用者情報共有システムの導入や、予約者の当日キャンセル等について意見を交わし、現状や課題を共有した。事業者からは、日によって利用者数が変動するため職員の配置が難しく、運営が厳しいと伺っており、国の制度を活用して運営費補助や施設整備補助を行っている。今後はSNS等も活用し、事業の一層の周知に努めていきたい。(こども家庭部長)

【質問項目】

▼病児保育 ▼消防職員採用時の色覚検査
▼地域包括ケアの取り組み

特集 議会改革の取り組み

富山市議会では、議会機能の充実と強化を目指して、さまざまな取り組みを進めてきました。これまでに実施された内容についてお知らせします。

議員定数の見直し

48人 → 42人 (21年4月)
 42人 → 40人 (25年4月)
 40人 → 38人 (29年4月)

廃止したもの

議員個人による甲電、祝電 (28年12月から)
 会議出席費用弁償 (28年12月から)
 公費による海外視察 (国際交流事業) (29年4月から)
 議会報編集委員会の視察 (29年4月から)

議会運営・議会機能の充実

一般質問	一問一答方式の導入 (19年6月から) 議員1人当たりの年間持ち時間を90分から120分に変更 (29年6月から) 質問日を3日間から4日間に見直し (30年3月から)
議員提案条例	「安全で安心なまちづくり推進条例」を可決・制定 (23年3月) 「空家等の適切な管理及び活用に関する条例」を可決・制定 (29年3月)



情報公開 (ホームページ公開・窓口閲覧)

委員会視察報告書のホームページ公開、窓口閲覧 (29年1月から)
 議員個人の全ての議案等に対する賛否状況、審議結果のホームページ公開 (29年9月から)
 常任委員会、議会運営委員会等の議事録のホームページ公開、窓口閲覧 (29年9月から)
 委員会資料等のホームページ公開 (30年6月開始予定)

開かれた議会への取り組み～市議会のことをもっと知ってもらうために～

議会中継	インターネットによる本会議の中継 (29年3月から) ケーブルテレビによる本会議の放送 (30年3月から)
傍聴	傍聴受け付け手続きの簡素化 (29年3月から) 傍聴申し込み時の住所記入を不要として、氏名のみでの記載とした。
会議の公開	政務活動費のあり方検討会 (28年9月から) 議会改革検討調査会 (28年10月から) 議会報編集委員会 (29年1月から)
市議会だより	一般質問の議員名、会派名、答弁者の掲載 (28年12月定例会号から) 質問議員の顔写真、議案等に対する会派の賛否の掲載 (29年3月定例会号から) 市議会だよりのページ数を8ページから10ページに変更 (29年6月定例会号から) 紙面リニューアル (レイアウトの変更、QRコードの掲載等) (29年9月定例会号から) 市議会だよりについてのアンケート (29年12月定例会号)



政務活動費に関する見直し

運用指針の見直し (使途基準の明確化等) (29年4月から)
 領収書等、議長提出書類の原本化 (28年度分) (29年4月から)
 会派所属議員数に応じた加算制度の廃止 (29年4月から)
 第三者機関の会派による共同設置 (29年7月から)

情報公開 (ホームページ公開・窓口閲覧)

収支報告書および実績報告書のホームページ公開、窓口閲覧 (29年1月から)
 領収書等証拠書類の窓口閲覧 (過去5年分) (29年4月から)
 領収書等、証拠書類のホームページ公開 (29年12月から)



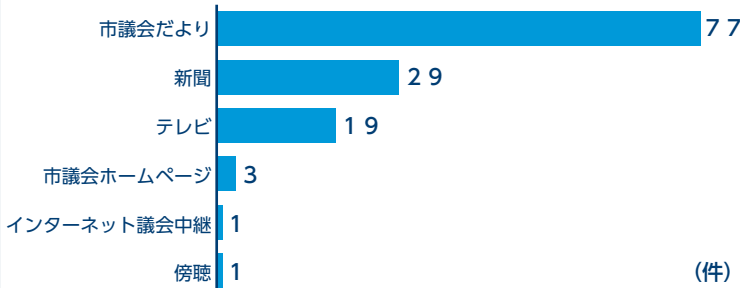
アンケートの結果

ご協力いただきありがとうございました。

市民の皆様により親しまれる「とやま市議会だより」にするため、前号でアンケートを実施し、79人の方からご回答をいただきました。アンケートの集計結果の概要をお知らせします。

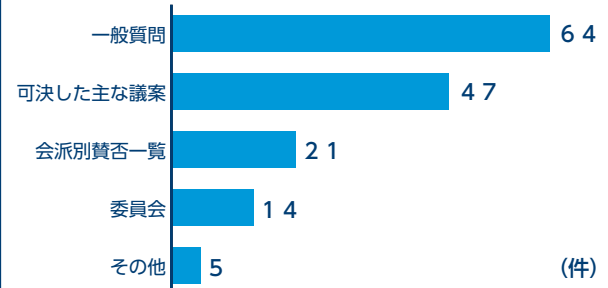
富山市議会の活動などの情報は何で入手していますか。

(複数回答可)



「とやま市議会だより」で関心のある記事は何ですか。

(複数回答可)



「とやま市議会だより」について、お寄せいただいた主なご意見・ご要望

- 以前からみると、内容がわかりやすくなった。
- 文字数が多すぎて、見にくいです。
- 予算の使い道が、もう少し細かく記載されていると嬉しい。
- 一般質問の内容をもっと詳しく記載して欲しい。
- 賛否の議員名を出して欲しい。
- 行政視察報告は、参考になった点や感想などを載せたほうが良い。
- 見て解りやすいページの工夫を願います。
- カラーの方が見やすい。
- 学生にも興味を持ってもらえるようなコーナーがあれば良いと思います。
- 委員会の反対／賛成討論とその結果が分かるところが良かった。
- QRコードの読み取りで気になる内容の中継が見られ良い。
- ケーブルテレビでの議会中継を楽しみにしています。
- ペロリッチはじめキャラクターが親しみを感じる。
- 無関心が一番ダメだと思っています。市議会だよりが一番の情報源です。

市民の皆様からほかにも、たくさんのご意見・ご要望をいただきました。お寄せいただいたご意見は、今後の市議会だよりの企画・編集や議会活動に生かしていきます。

- ◎期間：30年2月5日～30年2月28日
- ◎件数：79件(郵送46件、FAX12件、Eメール18件、持参3件)
- ◎年齢：(10～20代)3% (30代)11% (40代)11% (50代)20% (60代)27% (70代)19% (80代)8% (無回答)1%



行政視察報告

市政の課題や先進事例の調査を行うために、市内外への行政視察を行っています。視察後は、委員会ごとに報告書を作成し、本会議や委員会での質疑や提言に生かし、市政に反映していきます。富山市議会のホームページに、行政視察報告書を掲載しておりますので、ご覧ください。

厚生委員会

(2月19日)

- 【(株)ホクタテ】
- ・きぼう保育園
- 【南砺市地域包括ケアセンター】
- ・地域包括ケアシステム



きぼう保育園についての視察の様子

建設委員会

(2月21日)

- 【松川雨水貯留施設】
- ・松川雨水貯留施設整備事業
- 【ファミリーパーク】
- ・ライチョウ舎およびライチョウ保護増殖事業



松川雨水貯留施設での視察の様子

行政視察受け入れ状況

本市の事業について、全国の議会からの視察を受け入れています。(29年4月～30年3月)

視察受け入れ件数	人数
152件	1,129人

主な視察項目	件数
コンパクトなまちづくり	31件
富山型デイサービス	26件
まちなか総合ケアセンター	18件
とやまこどもプラザ	9件



とやまこどもプラザ

富山市立探偵課

アンケートのご回答ありがとうございました。プレゼントは、厳正な抽選の上、発送させていただきました。



次回は6月定例会です。